



神戸大学・兵庫県連携事業
神戸大学エキスパートメディカルスタッフ育成プログラム

今の時代、ウィメンズヘルスケア能力は
助産師に求められています。

※アドバンス助産師更新にも活用できます。

令和3年2月13日（土）

9：15～16：40（4講座）



令和2年度
周産期医療コースフォーラム

助産師に求められるウィメンズヘルス

定員 500名（先着）※兵庫県内の医療機関等に勤務する助産師の受付を優先いたします。

開催方法

WEB 開催（ZOOM）

申込方法

下記 URL 又は QR コードよりアクセスし、応募フォームよりお申込み下さい。
http://www.edu.kobe-u.ac.jp/fmed-cacm/ems/r2perinatal_form.html
申込締切：令和3年2月5日（金）



講義 1 不育症を理解する 9：20～10：50

講師：出口 雅士（神戸大学医学部附属病院）

兵庫県では一部の自治体で不育症の治療助成が始まっています。国の方でも助成の検討がなされています。不育症治療にはテnderラビングケアなど助産師の関わる部分も多くあります。不育症のリスク因子と治療について解説します。

講義 2 臨床薬理（妊娠と薬） 11：00～12：30

講師：橋本 真梨（神戸大学医学部附属病院）

2012年に神戸大学医学部附属病院に「妊娠と薬外来」が開設され、妊娠中や妊娠を希望する女性に対して妊娠・授乳中の薬物治療に関する相談業務を行っています。今回は妊娠・授乳期の薬物治療について解説いたします。

講義 3 妊娠と糖尿病の理解と対応 13：30～15：00

講師：芳野 啓（神戸大学医学部附属病院）

妊娠中の糖代謝異常には、糖尿病が妊娠前から存在している糖尿病合併妊娠と、妊娠中に発見される糖代謝異常（妊娠糖尿病および妊娠中の明らかな糖尿病）がある。糖代謝異常妊娠では、正常妊娠と比較して母児ともに併発症のリスクが高く、妊娠前から厳格な血糖コントロールを行うことによりこれらのリスクが減少することが報告されており、妊娠前から血糖値を正常化したうえで計画妊娠を指導し、妊娠後も引き続き厳格に血糖コントロールすることが必要である。本講演では、妊娠中の糖代謝異常の診断、インスリンを含めた治療につき概説する。

講義 4 助産師が行う性教育 15：10～16：40

講師：毛利 多恵子（毛利助産所）

神戸市は市内の中学生を対象に、健康や性行動、性感染症についての知識と健全な自尊心、自分を大切にすることを育てることを目的に、健康教育を助産師が実施しています。その実際を通じて助産師の役割をお話いただきます。

◆問い合わせ先◆

神戸大学エキスパートメディカルスタッフ育成プログラム
〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1番5号

E-mail：ems Kobe@med.kobe-u.ac.jp TEL：078-382-6116（担当：鈴木） URL：http://www.med.kobe-u.ac.jp/comed/